

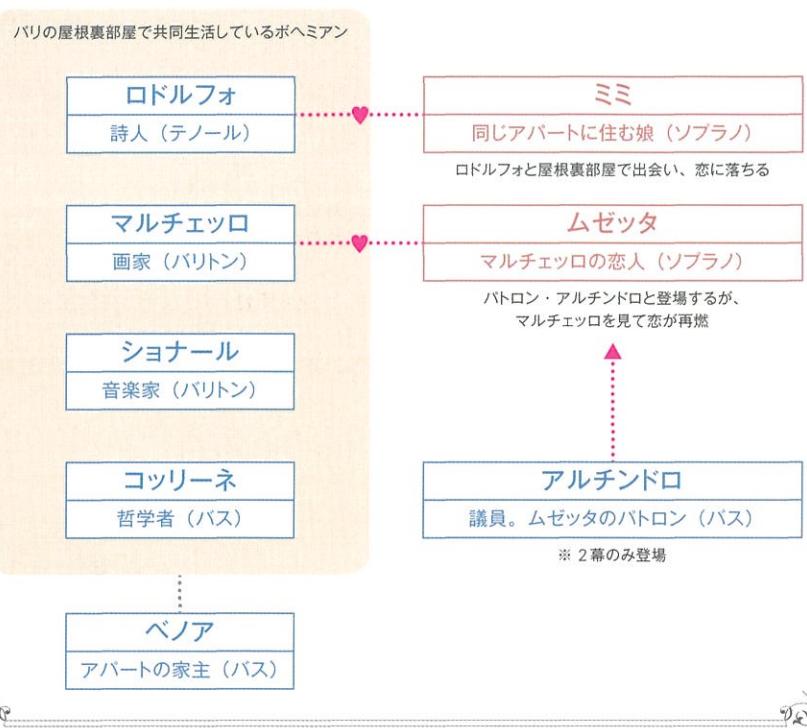
G. プッチーニ 作曲 歌劇「ラ・ボエーム」

(原語上演・字幕付)

2011年9月3日(土) 17:00開演・4日(日) 14:00開演(開場は開演の30分前)

京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)

<登場人物>



■有名な楽曲

(1幕)

- ・冷たい手(ロドルフォ)
- ・私の名はミミ(ミミ)
- ・愛の二重唱(ロドルフォ・ミミ)

(2幕)

- ・ムゼッタのワルツ(ムゼッタ)

(3幕)

- ・四重唱(ロドルフォ・ミミ・マルチエッロ・ムゼッタ)
- ・さようなら(ミミ)
- ・別れの二重唱(ロドルフォ・ミミ)

(4幕)

- ・あゝミミ、お前はもう戻ってこない(ロドルフォ・マルチエッロ)
- ・外套の歌(コツリー^ネ)
- ・二重唱(ロドルフォ・ミミ)

【料金】全席指定

【S席】一般=9,000円/シニア=8,500円/京都芸術劇場友の会=8,000円

【A席】一般=7,000円/シニア=6,500円/京都芸術劇場友の会=6,000円

学生&ユース席=2,000円(座席範囲指定)

※ユースは25歳以下、シニアは60歳以上 ※シニア・学生・ユースは要証明書提示

【チケット発売日】友の会先行発売=5月24日(火)・一般発売=5月25日(水)

【お問い合わせ】京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター Tel: 075-791-8199

【チケット取り扱い】

□京都芸術劇場チケットセンター Tel: 075-791-8240(平日10:00-17:00)

□劇場オンラインチケットストア ※会員登録(無料)

パソコンから <http://www.k-pac.org>

携帯電話から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>

□電子チケットぴあ Tel: 0570-02-9999 Pコード: 136-862

□イープラス <http://eplus.jp>

□KBS京都事業部 Tel: 075-431-8300(10:00-17:00) ※土・日・祝除く)

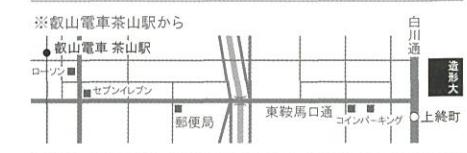
□京都新聞文化センター(京都新聞社1F窓口) Tel: 075-256-0007(10:00-17:00) ※土・日・祝除く)

□京都音協プレイガイド Tel: 075-211-0261(10:00-18:30) ※日・祝日除く)

□京都・滋賀各大学生協プレイガイド



京都芸術劇場モバイルサイト



●JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

●京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

●京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。



「広告“ヴェルダン”」佐伯祐三／大原美術館所蔵

構成・演出 = 岩田達宗

指揮 = 牧村邦彦 / 公演監督 = 松山郁雄

La Bohème

G. プッチーニ 作曲 歌劇「ラ・ボエーム」

(原語上演・字幕付)

2011年9月3日(土) 17:00開演・4日(日) 14:00開演(開場は開演の30分前)

京都芸術劇場 春秋座(京都造形芸術大学内)

【料金】全席指定

【S席】一般=9,000円/シニア=8,500円/京都芸術劇場友の会=8,000円

【A席】一般=7,000円/シニア=6,500円/京都芸術劇場友の会=6,000円

学生&ユース席=2,000円(座席範囲指定)

チケット発売日 友の会先行=5月24日(火) 一般発売=5月25日(水)

企画制作:NPO法人 ミラマーレ・オペラ
主催:京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
プロデューサー:橋市郎
協賛:株式会社 遊々堂
後援:KBS京都・京都新聞社



京都芸術劇場
春秋座

G. プッチーニ 作曲 歌劇「ラ・ボエーム」

春秋座の「ラ・ボエーム」

「最も好きな作曲家は？」と訊かれたらば、私は即座に「プッチーニ！」と答えるだろう。同じく、「最も好きなオペラは？」と訊かれたらば、迷わず「ラ・ボエーム」と答える。プッチーニはともすると、ワーグナーやヴェルディに較べて低く見られがちである。メロディーが余りにも美しいため、「単旋律の作曲家」などと不当な評価をする人もいる。「ラ・ボエーム」を「新派大悲劇」などと揶揄した人もいた。確かにパリのオペラ座でも、東京文化会館でも幕が下りた時、ほとんどの人が涙をぬぐっていた。もちろん私も。貧しい芸術家たちの純愛と友情の物語は誰だって感動しないはずがない。しかもプッチーニの甘く切ない旋律は何倍にも感性を刺激する。

「オペラは壮大な総合芸術で、豪華なオペラ劇場で上演されてこそ、絶大な効果がある」という見方は概ね正論である。しかし、私は50年以上前から、「ラ・ボエーム」は室内オペラ風に上演されても、必ずや感動を与えるオペラとして成立すると思っていた。ただし、「純愛と友情の物語」「プッチーニの名曲」にピントを合わせた演出がなされればという条件付である。この条件が整えば、「ラ・ボエーム」は春秋座で上演する価値がある。

昨年、「ラ・ボエーム」に対する思いを旧知の松山郁雄さんに語ったところ、「自分もそう思う」と賛同してくれた。「狙いを理解してくれる演出家はいないだろうか?」という質問に「岩田達宗さんなら分ってもらえるかも知れない」という返事が返ってきた。

早速、岩田さんにお目にかかりお話をした結果、意気投合したのは言うまでもない。指揮の牧村邦彦さんも、川越塔子さん、村上敏明さんをはじめとする素晴らしい出演者も、松山さん、岩田さんのお力で集ってくださった。きっと「ラ・ボエーム」の魅力を十二分にご存知の方たちなのだろう。「オペラは何万円も払わない見られない」と思っている方たちに、ぜひ一万円未満で感動していただきたい。これが私たちの切なる願いである。

(舞台芸術研究センター プロデューサー 橋市郎)

岩田達宗 〈構成・演出〉

©大阪音楽大学



牧村邦彦 〈指揮〉



オペラ演出家。神戸市出身。東京外国語大学フランス語学科卒業。大学卒業後、劇団「第三舞台」を経て、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に参加。オペラの舞台製作にかかる。「91年に栗山昌良氏に演出助手として師事。'96年五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞。'98年より2年間、ドイツ、イギリスを中心ヨーロッパ各地を遊学、研鑽を積む。帰国後、本格的にオペラ演出家として活動を始める。日生劇場、新国立劇場、びわこホール、コレギュム・ムジクム、藤沢市民オペラ、神戸市演奏協会など各地のオペラ・プロダクションで作品を発表し、高い評価を得る。'07年より、いすみホール、オペラではプロデューサーも兼任。なかでも'03年に堺シティオペラでのプッチーニ作曲「三部作」、「05年いすみホールでのフランク作曲「カルメル」会修道女の対話」は、同年の音楽クリティック・クラブ賞、大阪府舞台芸術賞を受賞。同じく堺シティオペラ「三部作」と愛知万博開催記念オペラ新実徳英作曲「白鳥」は佐川吉男賞を受賞。'06年には自身が、オペラ演出家として初めてとなる音楽クリティック・クラブ賞を受賞。またソプラノ佐藤美枝子とのコンビによるモノオペラ「幻想のルチア」、尾崎比佐子プロデュースによる「ロメオとジュリエッタ」、三木稔作曲「幸せのバゴダ」などの少人数による実験的小劇場オペラでは台本も担当。好評を得て全国を巡回中。全国各地のオペラ公演に導き、多忙を極め、「行列のできる演出家」と言われている人気演出家である。

演出	岩田達宗
指揮	牧村邦彦
公演監督	松山郁雄
照明	原中治美
舞台監督	飯田貴幸（ザ・スタッフ）
[出演]	
ミミ	川越塔子（3日）
	稻森恵恵（4日）
ロドルフォ	村上敏明（3日）
	清原邦仁（4日）
マルチエッロ	井上敏典（3日）
	東 平間（4日）
ムゼッタ	柴山 愛（3日）
	古瀬まきを（4日）
ショナール	萩原次己（3日）
	楠木 稔（4日）
コッリーネ	片桐直樹（3日）
	雁木 悟（4日）
ペノア／アルチンドロ	松山いくお（両日）
合唱…ミラマーレ・ヴィルトゥオーゾコーラス	
演奏…ミラマーレ室内アンサンブル	

出演者プロフィール

川越塔子 〈ミミ〉

東京大学法學部卒業、武藏野音楽大学大学院修了。（財）日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第20期修了。第3回BUNKAMURAオペラティックバトルにて優勝後、2002年に日本オペラ協会公演・團伊玖磨<タ鶴>のうちに抜擢されオペラデビュー。平成16年度文化庁新進芸術家国内研修員を経て、平成18年度在学研修員として2006年よりイタリアに留学。帰国後の2009年は、日本オペラ協会創立50周年記念公演・水野修孝<天守物語>の難役、天守夫人阪元を見事に演じ切り絶賛を博したほか、ミラマーレ・オペラ小劇場シリーズ・G.ロッシーニ<セヴィリアの理髪師>のロジーナ、藤原歌劇団公演、G.ドニゼッティ<愛の妙薬>のアディーナ等、重要な公演でいずれも主演を果たし、注目を集めている。また2010年秋には京都造形芸術大学春秋座にて、日本オペラ協会京都公演・團伊玖磨<タ鶴>のつうを演じている。松内和子、松本美和子、横山修司、故G.バスティネ、仁田ちさの各氏に師事。藤原歌劇団員。



稻森恵恵 〈ミミ〉

京都教育大学音楽科卒業。京都市立芸術大学大学院修了。'99イタリア留学中にM.アダーニ女史に師事。京都オペラ協会「椿姫」ヴィオレッタ、「フィガロの結婚」スザンナ、「ドンジョバンニ」ドンナアンナ、びわ湖ホール「マルタ」レディーハリエット、「ジブリー男爵」アルゼーナ、「フィガロの結婚」ケルビーノ、コレギュムムジクム、川西市民オペラ「愛の妙薬」アディーナ、新潟ニューセンチュリーオペラ「てかがみ」かよ、オペラアンサンブルkyo「ラボエーム」ムゼッタ、広島オペラルネッサンス「カルメン」ミカエラ、「カルメル」会修道女の対話」リドワース新修道院長役で出演。コンサートでは戴冠ミサ、メサイヤ、第九などのリストとして出演。響場知昭、常森寿子各氏に師事。



村上敏明 〈ロドルフォ〉

国立音楽大学声楽学科卒業。文化庁在外研修員として、2001年よりイタリア・ボローニャへ2年間留学。その後、2007年までイタリアに在住。イタリアオペラを中心に40役を超える幅広いレパートリーを有し、国際的に活躍を続けています。2002年に、オルヴィエートのマンチネッリ劇場にて「リゴレット」マントヴァ公爵でヨーロッパデビュー。藤原歌劇団では、「椿姫」アルフレード、「蝶々夫人」ピンカートン、「ラ・ボエーム」ロドルフォ、新国立劇場では、「椿姫」アルフレード、「蝶々夫人」ピンカートン、「黒船」領事・「修禅寺物語」頼家に主演し、常に最大級の賛辞を受けている。15の国際声楽コンクールで優勝または上位入賞。2007年NHKニューイヤーオペラコンサートに初出演。今後も、10月東京文化会館「リゴレット」マントヴァ公爵等で出演が予定されている他、年間90公演を超えるステージで活躍している。平成16年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団員。東京藝術大学非常勤講師。人気実力ともに、日本を代表する若手テノール歌手として、活躍の幅を広げている。



清原邦仁 〈ロドルフォ〉

大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。関西歌劇団をはじめ、河内長野、伊丹、川西などの各市民オペラ、ザ・カレッジ・オペラハウス等の数多くの公演にソリストとして出演。「リゴレット」マントヴァ公爵、ボルサ、「こうもり」アルフレード、「コジ・ファン・ツツィード」フェルランド、「ヘンゼルとグレーテル」魔女、「蝶々夫人」ゴロー、「ジャンニ・スキッキ」リヌッチャ等、幅広い役柄を好演。2006年夏にはイタリア・ブッチーニフェスティバルで「蝶々夫人」ゴローを演じ好評を得た。ヴィーン・フォティーフ教会ミサ、ルーマニア・トルグ・ムレシュ冬の音楽祭にソリストとして参加。また、自主公演等で「オルフェオとエウリディーチェ」、「フィガロの結婚」、「こうもり」、「ヘンゼルとグレーテル」、「レ・ミゼラブル」、「エリザベート」、「ラ・チエネレント」、「椿姫」等を演じ好評を得るなど、小劇場オペラやミュージカルなどの企画・演出など多数手掛ける。本年は帝劇開場100周年記念公演「レ・ミゼラブル」にも出演している。関西歌劇団員。奈良県立高円高校音楽科非常勤講師。平成17年度大阪舞台芸術新人賞受賞。



井上敏典 〈マルチエッロ〉

大阪音楽大学大学院修了。多数のオペラに主役として出演。又、多数の宗教曲やベートーヴェン「第九」のソリストとして活躍のほか、日本歌曲やドイツ歌曲のリサイタルでも好評を得る。文化庁在外研修員としてドイツに留学。なにわ芸術祭新人賞、新人音楽コンクール大賞、文部大臣奨励賞、大阪文化祭奨励賞など多数受賞。現在、同志社女子大学教授、関西歌劇団副理事長。



東 平間 〈マルチエッロ〉

大阪音楽大学卒業。同大学専攻科修了。卒業後、関西二期会や各地オペラ団体などで、「メリーウィドウ」、「こうもり」、「秘密の結婚」等に出演。2006年度文化庁人材育成オペラで「ジャンニ・スキッキ」のタイトルロールを演じた。作品や人物背景の読み込みによる優れた演技力は常に高い評価を得ている。また、第九やメサイヤ等の宗教曲、サロンコンサート、リサイタル等、各種演奏会においてソリストとして出演。関西二期会会員、関西大学グリークラブボイストレーナー。大阪音楽大学付属音楽院講師。



柴山 愛 〈ムゼッタ〉

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業、2002年渡欧、ウィーン市立音楽院Sologesang科留学。和歌山音楽コンクール第1位。フランス音楽コンクール入選。オペラでは「フィガロの結婚」スザンナをはじめ、「修道女アンジェリカ」「ル・サルカ」「リゴレット」「ドン・バスカーレ」「シンデレラ」「愛の妙薬」などに出演。小谷佳久子、阪上和夫、Christine Schwarzの各氏に師事。



古瀬まきを 〈ムゼッタ〉

兵庫県出身。相模大学卒業、京都市立芸術大学大学院修了。横浜オペラ未来プロジェクト2009「フィガロの結婚」スザンナ役、ひろしまオペラネットサンズ「カルメル会修道女の対話」コンスタンス修道女役など出演多数。第10回高槻音楽コンクール奨励賞、第24回浜松音楽祭大阪21世紀協会賞。田口久仁子、故木川田誠、日紫喜恵美、佐藤康子、常森寿子、谷村由美子、大森地庵の各氏、ドレスデンにてChristiane Hossfeld女史に師事。呼吸法および楽曲分析を山田亮平氏に師事。



萩原次己 〈ショナール〉

京都市立芸術大学大学院を大学院賞を得て修了。86年フランス音楽コンクールにおいてフランス総領事賞受賞。95年友愛ドイツ・リートコンクール第1位、併せて最優秀賞及び文部大臣奨励賞受賞。98年日本音楽コンクール第3位入賞。第7回J.S.G.国際歌曲コンクール入選。オペラでは、モーツアルトの4大オペラをはじめ、「カルメン」「こうもり」「愛の妙薬」「セビリアの理髪師」その他数多くのオペラに出演する。現在、京都女子大学、同志社女子大学、京都市立芸術大学各非常勤講師。関西二期会正会員。



楠木 稔 〈ショナール〉

三重県熊野市出身。大阪音楽大学専攻科修了。これまでに「魔笛」のパパゲーノ、「ドン・ジョヴァンニ」のマゼット、騎士長、「ジャンニ・スキッキ」の医者、公証人、「つばめ」のランバルド、「クリスピーノ」と不思議な女」のミラボーラー、等多数のオペラに出演。キャラクターの強い役を得意とする。また、フォーレやモーツアルトのレクイエム他、多数の宗教曲のソリストとしても出演。福田朝子、田中由也の各氏に師事。神戸市混声合唱団員。大阪音楽大学演奏員。関西歌劇団正団員。



片桐直樹 〈コッリーネ〉

東京藝術大学大学院オペラ科修了。第22回藤堂音楽褒賞受賞。1988年、関西二期会オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」でレボレッロ役としてデビュー。「愛の妙薬」、「フィガロの結婚」、「蝶々夫人」など、これまでに約70の役を演じ、いずれも好評を博す。オペラ以外では、パロックから現代に至るまでオラトリオや宗教曲などのソリストとして出演多数。福島慶子、喜多村彪、木川澄、中山桜一、原田茂生の各氏に師事。関西二期会、京都音楽家クラブ会員。相模大学、滋賀大学非常勤講師。



雁木 悟 〈コッリーネ〉

1987年にオペラデビュー。関西二期会・日生オペラ劇場他のオペラプロデュース等にソリストとして100公演以上出演。また、ベートーベン「第九」、ヘンデル「メサイア」他的ソリストとして、大阪フィルハーモニー、大阪センチュリー等のオーケストラと共に。歌曲によるリサイタルやジョイントコンサートを数多く行う。近年は、コラムニストとして産経新聞に音楽コラムを連載している。

